



こんにちは！ 細木りょう です。

日本共産党高知県議団ニュース

発行 日本共産党高知県議団

編集 細木 良

No.750

2024年9月1日・8日

県議会控室 823-9524

ファックス 823-9075

携帯090-8972-1478

高知市介良乙3668-11

コロナ・熱中症対策で知事に申し入れ

今夏、全国的に見て高知県内はコロナ感染の流行が続いており、その対策や支援、また連日「熱中症警戒アラート」が発出、救急搬送も多い中、共産党県議団は県委員会とともに8月9日、濱田知事に対し、「医療逼迫を回避し、新型コロナウイルス感染症及び熱中症から県民の命を守る緊急要請」を提出しました。

コロナ関連では、治療薬の自己負担軽減、医療機関への支援、後遺症への対応など。熱中症対策では、エアコン設置と電気代補助、クーリングシェルの周知と指定箇所増設など。



「西敷地暫定整備」市長に申し入れ

22日、まちなか広場プロジェクトは、桑名市長に対し「オーテピア西敷地の今後の整備・活用についての申し入れ」を行いました。

概要は予算枠を最大限活用し緑のスペース確保、子どもが安心して遊べる広場として整備（暑さ対策としてミストや噴水なども）開発につながる“高度利用”でなく賑わい広場として充実させることなど。

私もこの運動に関わり、8年以上経過しました。市民の粘り強い運動が、高度利用を食い止めています。



細木りょうの“まいゆう日誌”

○（写真）今年も「介良よさこい祭りこども踊り子隊」のみなさんと一緒に行動しMC担当をさせていただきました。子どもたちのさわやかな笑顔と元気な掛け声に暑さもふっとんだ2日間でした。

○8月14日、県旅館ホテル生活衛生同業組合との懇談会に参加。深刻な人出不足、県外資本ホテルの進出ラッシュ、南海トラフ「注意」発令による1億円を超えるキャンセル被害などの実態を聴かせていただきました。

○8月15日、「8・15戦争を語り継ぐつどい」へ。講師は御年92歳（私の父と同じ年）で元教員の藤本眞事さん。「戦中・戦後、私が受けた教育」と題し1時間、立ちっぱなしで講演。子ども時代、徹底的に受けた軍国教育の洗脳の恐ろしさを感じました。

○8月17日、高知県革新懇主催「東アジアの平和構築提言～日米安保破棄の運動との関係も～」と題する学習会に参加。ジェンダーの問題や県内の危険な低空飛行訓練、沖縄の女性暴行事件多発、日米地位協定改正の必要性など通じ、安保の問題を考え直すことの必要性など感想を述べさせていただきました。

○同日、こうちネットホップ学習会「子どもが選べる子どもの居場所“子どもシェルター”について」。今春県内に開設されたシェルター「おるき」。虐待やいじめ、不登校、貧困など県内の子どもをめぐる状況は厳しい。お問い合わせは080-6233-7974まで。ぜひ運営NPOへのご支援も。

○8月18日、長浜集会所で市政・県政報告と要望懇談会を開催。町内の高齢化や自治会活動低下により住民自治が困難になっている事態についてもっと行政や議員は真剣に取り組んでほしいとのご意見等いただきました。

○8月19日、特定利用港湾問題キックアップ集会に参加。これまで知事から県民に対し一度も説明されていない重大な問題です。郷土の軍事化を防ぐため、署名のご協力を引き続きお願いいたします。

○8月22日は高知県競馬組合臨時議会でした。専決処分の金額が高額なこと、従事員の定員不足が続いていることなどを指摘、早急に改善するよう求めました。

○8月25日は高知市防災土連絡協議会の学習会へ。講師は高知大岡村眞名誉教授による講演「近づく南海トラフ地震-前回から77年目にやっておくべきこと-」過去から真摯に学ぶこと、高知市など長期浸水エリアで帰れない場合のまちづくりや、行政がすべき課題など盛りだくさんの内容でした。

○小学生の頃読んでいた「月刊誌ムー」の展覧会が県立文学館で9月16日まで開かれています。近々映画化される“介良 UFO 事件”など不思議な出来事が文学と絡められ、興味深い展覧会となっています。



はみだしヴォイス この原稿を書いているのは8月27日夜。台風10号の今後の動きが気になります。被害が少なくなるよう祈るばかりです。地球温暖化で台風も強大化しており本当に心配です。温暖化に立ち向かうことが最重要で人類は戦争している場合ではない。